危機管理部長説明要旨

危機管理部長の 中村 でございます。
どうぞよろしくお願いいたします。

初めに今月4日に台風15号が発生し、5日には本県に上陸いたしました。幸いにも本県では被害はありませんでしたが、静岡県などでは、大雨や突風、竜巻の発生などにより大きな被害が発生しました。

被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

また、先週11日には首都圏で記録的な大雨となり、河川の氾濫や冠水による被害も生じました。

県といたしましては、近年、頻発化・甚大化する風水害について、引き続き対策を進めてまいります。

まず、カムチャツカ半島付近を震源とする地震の発生に伴う津波警報の発表時の対応について、御説明申し上げます。

県では7月30日の津波警報の発表を受け、直ちに災害対策本部を設置し、市町村や関係機関からの情報収集に努めるとともに、沿岸付近の住民の方々に対し高台などの安全な場所への避難の呼びかけや、水門・樋門等の閉鎖など対応してまいりました。

津波による被害は発生しませんでした。屋外避難場所における熱中症対策や自動車による避難のあり方などの課題を改めて認識したところです。

そのため、今回の災害について検証を進めるとともに、県民の皆様には、迅速な避難ができるよう避難場所や避難経路の確認に加え、持ち出し品の点検について、改めて呼びかけてまいります。

次に、南海トラフ地震臨時情報が発表された際の防災対応について御説明申し上げます。

昨年8月の南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)発表時に、イベント開催等への対応の判断に苦慮した団体が多かったことから、県では、先月国が公表した「南海トラフ地震臨時情報防災対応ガイドライン」改訂版の内容も踏まえつつ、イベント主催者等が留意すべき点などを盛り込んだ新たなガイドラインを今年度中に策定することとしております。

次に、昨年度末に公表した令和6年能登半島地震を踏まえた防災・減災対策の検証結果に基づく、避難所の環境改善に関してですが、先般導入しましたキッチンコンテナとトイレカーについては、7月8日に展示・説明会を行うとともに、県民の皆さまへの周知を図るため、8月10日に開催された自衛隊主催のイベントで活用したところです。

そのほか、今年度中に簡易ベッド及び水循環型シャワーの導入も予定しており、今後、各振興局等への配備を行ってまいります。

引き続き、市町村と連携しながら避難所の環境改善に取り組んでまいります。

最後に、「世界津波の日」が制定されてから本年度で10年の節目を迎えます。

11月5日が世界津波の日に指定される由来となった本県が誇る偉人である濱口梧陵や稲むらの火の逸話を広く知っていただくとともに、津波や避難の重要性への理解と関心をより一層、深めていただくため、10月25日には広川町で講演と史跡を巡り実感いただく「稲むらの火」に学ぶ現地体験ツアーを、11月21日には「世界津波の日」2018 高校生サミット in 和歌山の高校生議長経験者などをお呼びし、次世代に伝えることをテーマとしたパネルディスカッションなどを和歌山市で実施するシンポジウムを教育委員会と連携して開催する予定としております。

詳細につきましては、後日、御案内を申し上げます。

私からは以上でございます。

よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。